

【群馬でのとある1日(後編)】

群馬について何も知らない埼玉県民が群馬の前橋・赤城エリアを滞在して「これはいいな」と感じた点やオススメスポットを時系列で紹介したいと思います。

--2日目--

(6:00)

音羽倶楽部で起床後、昨日からレンタルしているeバイクで前橋駅まで直行して、駅前に駐輪。本日は、滞在中に仕事で知り合った方のご好意で、その方の車に乗せていただき、赤城山山頂エリアに向かいます。



(7:00)

車に揺られること約1時間、赤城山頂・大沼エリアに到着。
車を降りてまず感じたのは寒さ。標高が上がることで麓のエリアとは比べ物にならない程の気温差がありました。この日は前日の降雪と風の強さも相まって、しっかり厚着してきたのに寒過ぎて笑えます☺



寒さの次に気づいたのは人の賑わい。

到着した朝の7時という時間は、この赤城山頂エリアの冬の目玉体験とも言える「氷上ワカサギ釣り」の入場開始時刻でした。

釣り人と言うよりも南極観測隊の様な装備をした人たちを見て「本当にこれは釣りスポットなのか？みんなが押してる小さな家みたいなソリは一体何なんだ??」とギモンを感じつつ、

まずは腹ごしらえ。



向かったのは大正時代から続く老舗の「青木旅館」。バスで来る方は、こちらに前泊するのもおすすめです。

旅館ならではの和食に舌鼓を打っていると、旅館の女将さんがかつて「御料地」であった赤城山や旅館の歴史を語ってくださいました。



(8:00)

女将さんとの雑談に時間を忘れるところでしたが、ここに来た本来の目的を思い出しました。そう、氷上のワカサギ釣りです。

「手ぶらで楽しめる」というキャッチフレーズに惹かれ、防寒着以外何も持たずに来た僕の事情を青木旅館の館主さんに伝えると、0から丁寧にワカサギ釣りに必要なアイテムの説明をしてくれました。

釣竿や餌はもちろん、氷面に穴を空ける道具や寒さと風を防ぐための一人用テントなど、“氷上”釣りならではのアイテム一式をレンタルしました。

さらにここ赤城山の大沼では、常連のワカサギ釣り人さんが「わかさぎチャンネル」なるYouTubeチャンネルを立ち上げ、他の常連さんたちと協力をして初心者でもワカサギを釣るための方法を丁寧に説明してくれているのだというから驚き。

わかさぎチャンネル

[【超初心者向け】氷上ワカサギ釣り始め方完全マニュアル](#)



実際視聴しましたが、なるほどこれは確かにわかりやすい。なんだかこれだけで釣れる自信が湧いてきました。

{8:30}

青木旅館のスタッフさんからのアドバイス、そしてわかさぎチャンネルで得た知識を元にいざ氷上へ！



テントやレンタル機材を積んだソリを引き「どこに行けば釣れるんだ・・・？」と

氷上を歩き彷徨うこと数分、何やら異彩を放つテントを発見。

よく見るとそこにはデカデカと「赤城の鬼」という文字が。鬼と聞いて一瞬ギョッとしましたが、彼はここ大沼で、初心者向けにワカサギの釣り方を教えるボランティアをしている優しい鬼さんだそう。

早速僕も声をかけて、赤城の鬼ことキクチさんの教を乞うことにしました。

[「赤城の鬼」ことキクチさんのInstagramアカウント](#)



僕が全くの初心者であることを伝えると、キクチさんは快く釣竿と餌付けのセッティング、そして注意点を分かりやすく丁寧に教えてくれました。

曰く、「大沼のワカサギは餌に困らないからそう簡単には食いつかないし、アタリが分かりにくい。ここで釣れるようになれば他のどこに行っても釣れるようになる」とのこと。

特に重要なのは「アタリを見極めるために一定の位置、一定のリズムで竿を動かし続けること」だそう。アドバイスを聞きながら早速ワカサギ釣り開始！！



赤城の鬼さんからのアドバイスと、彼が持つ魚群探知機を頼りに糸を垂らしていると、早速アタリの反応が。

急な出来事に焦りながらも糸を手繰り寄せると、そこにはワカサギが！！

初めての釣果に興奮し焦っていると、糸が絡む&釣り竿の先が折れるという凡ミスをやらかしました。。

後で痛感したのですが、ワカサギ釣りでもう一つ重要なのは「反応があってもあせらずに糸を決まった手順でスムーズに手繰り寄せること」だそうです。以後肝に銘じます。

そんなこんなで最終的な釣果は4匹。1日の最高記録は600匹以上と豪語する赤城の鬼さんには遠く及びませんが、確かな成果に手応えを感じながら青木旅館へと引き上げました。



赤城の鬼さんや地元の釣り人さんたちとのワンショット(氷の穴にスマホを置いての撮影)

(13:00)

青木旅館に戻り、無事ワカサギが連れたことを女将に伝えると「早速釣ったワカサギを調理してくれる」との嬉しい申し出が。

青木旅館さんでは、なんと釣れたワカサギを無料で調理してくれるサービスがあるとか。早速天ぷらにしてもらおうようお願いします。



自分で釣ったワカサギの味はとても甘く、サクサクとやわらかい食感で大変美味でした。ただ、やはり4匹では腹が満たされなかったので、青木旅館の人気メニュー「ワカサギ定食」を追加注文。使われているワカサギはもちろんここで獲れたものとのことでしたが、自分で釣ったものより大きく食べ応えがありました。

(次は大物を釣るぞ！！)



食後、山頂エリアでゆっくりしてから帰りはバスで前橋駅へ戻ります。

溜まった仕事を整理するために駅前の商業施設「アクエル前橋」へ。

1階スペースは広々として蔦屋書店とカフェPRONTOが合わさった読書空間となっていて、作業が捗りそうな机スペースもたくさんありました。



(18:00)

作業後、お腹が空いてちょっと一杯飲みたい気分。

普段なら「自転車で来てるからお酒はがまん」となってしまうところですが、ここでも役立つのがサイクルトレイン。自転車を積んでホテルの最寄駅まで帰ってしまうわけです。飲みたいときに飲める、このうれしさ！

本日選んだのは天ぷら屋さん「天天天(テンサン)」。



綺麗な白ごま油を使っているので、クドくなく食べやすい天ぷらもさることながら、実はこの店の名物は別にあります。その名も「蛇口焼酎」。



その名の通り、蛇口をひねると焼酎が出てきます。
飲み放題で60分680円というコスパの良さにビックリです。
ホッピーやサワー系の割材も豊富で、天ぷらとホッピーがスルスルと入っていくのでした笑



食後はほろ酔いになりながらも、安心のサイクルトレインにeバイクを乗せ、最寄駅から1キロほど歩いて無事に音羽倶楽部へ帰着。

氷上ワカサギ釣りにカフェでの作業、蛇口焼酎からのサイクルトレイン。
今日も朝から晩まで盛りだくさんな1日を満喫しました！